

独身者のサポートを
してみませんか？

出愛サポーター募集中！

「ひろさき出愛（であい）サポートセンター」では、独身男女が会員登録をし、結婚相手を探しています。男女の引き合わせをお手伝いするのが、出愛サポーターの役割です。初めて会うことになる2人の間に入って、引き合わせの場所を決めるところから始まり、当日は会話を盛り上げたり、時には恋愛の相談に乗ったりと、まさにキューピッドのような存在です。会員と出愛サポーターは随時募集していますので、登録をして、出会いの輪を広げてみませんか？

登録者数

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性会員	9	47	31	18	6	111
女性会員	14	50	19	2	1	86
出会いサポーター	4	7	8	13	16	48

お見合い
実績

交際に発展 8組

連絡先交換 61組

お見合い件数 97組

出愛サポーターからのアドバイス

たくさんの時間と経験を共有するなかで、相手を良く知り、2人の「共感」を見つけていこう！

連絡先を交換したら、時間を空けずに2回目の約束をしよう！

自分の趣味や特技、休日の過ごし方をヒントに、会話のネタを見つけておこう！

出愛サポーターの交流会

出愛サポーター交流会を開催します。出愛サポーターの登録にむけて、まずは話を聞いてみたいという人もぜひ会場に足を運んでみてください。

▽とき 3月19日（土）、午後2時～

▽ところ ヒロロ（駅前町）3階多世代交流室2

▽参加料 無料

▽対象 20歳以上で県内在住の人

▽申し込み締切 3月14日（月）

■問い合わせ・申込先 ひろさき出愛サポートセンター事務局（ひろさき未来戦略研究センター内、☎35・1123、Eメール h-deai@city.hirosaki.lg.jp）

市民活動を
FMラジオで
発信！！

「つなげよう！市民のチカラ！」放送中です

●乳がん検診啓発活動／ほほえみネットワーク

乳がん経験者も、現在治療中で悩みを持つ患者も少しでも心が明るくなるように、2カ月に1回、サロン（親ぽく会）を開催し、患者や家族の精神的なサポートを行っています。また、乳がん検診や早期発見・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン運動、自己検診の大切さについて伝える活動のほか、抗がん剤治療により髪が抜けてしまった人たちのために、薄手のタオルでケア帽子を手作りし、病院に配る活動も行っており、誰でも気軽に参加できるケア帽子作りへの参加を呼びかけていました。

FMアップルウェーブ（78.8MHz）の日曜午後5時からの生放送番組「わがまま WAVE It's Cool」内で、町会やNPOをはじめとする市民活動の実践者が生出演し、活動の魅力を発信するコーナーです。毎月第4日曜日、午後5時10分頃から放送されますので、ぜひお聞きください。



ほほえみネットワーク会長の小嶋朋子さん（右）と大谷聖子さん（左）

もっと②♡弘前！！

学生企画コーナー

みんなで集おう！話そう！
“ひろさき”のこと

こんにちは、ひろ♡レポです。先日わたしたちは「第1回まちなが・サミット～新しい弘前について考える日～」に参加してきました！このイベントは、昨年施行された「弘前市協働によるまちづくり基本条例」を活用していくための一歩として、市民先導のまちづくりの事例を見て、聞いて、話し合う「学びの場」として開催されました。今回はその様子をお届けします！

第1部はまちづくりの現場で活躍している人の講演、第2部では観光・スポーツ・地域おこし協力隊・成年後見人制度という、いろいろな観点からまちづくりに取り組んでいる4人の活動発表がありました。発表を受け第3部では、発表者と、学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民を交えたディスカッションが行われ、発表者の経験談や活動内容を通して「自分でもできるまちづくり」について意見を交換しました。「今後このような活動を行いたいと思っている」や「今後何かを考えるとときはいろいろな角度からものごとをとらえるようにしてみたい」など、それぞれ抱いた思いを語っている場面も多くみられました。

発表者と運営委員にインタビュー

Q.活動を始めたきっかけは？

A. 家族のあり方が変化している今、社会の中で孤立している人がいて、そのような人たちをどうやって見つけるか、どう支援していくかを考え、現在の成年後見制度の支援活動を始めました。

Q.地域に対して思うことは？

A. 孤独死、空き家問題、子どもの貧困、格差社会など今の社会には多くの課題があります。弘前は地域で支える仕組みは整いつつありますが、もっと多くの人に関心を持ってもらい、本当の意味での強い地域になって欲しいと思いますし、自分もその手助けをしていきたいです。



鹿内葵さん
権利擁護あおい森ねっと理事
成年後見人制度の支援・相談事業を行っている。

Q.なぜ運営委員に？

A. 運営という立場から、まちづくりについて関心・興味のない人を変えるきっかけになりたいという気持ちから参加しました。

Q.まちづくりに興味を持った理由は？

A. 生まれ育った街、弘前に貢献したいという気持ちが始まりでした。積極的に活動などに参加するなかで、人との出会いや学校では出来ない経験を通し、将来の選択肢や自分の考えを広げられるところが面白いです。



斎藤大地さん
弘前大学教育学部3年



“まちづくり”と言えば観光や新たな施設の建設など明るい話題が表に出がちですが、住民の生活を支える福祉や奉仕活動など、隠れている部分も重要な要素であることに気付きました。また、多くの人と話すことで自分にはなかった知識や考え方が得られ、楽しかったです。堅苦しくない雰囲気だったので、次回もぜひ多くの市民に参加してほしいと思いました。これからもひろ♡レポでは、地域の人の取り組みについて注目していき、皆さんに伝えていきたいと思っています！！

卒業生のメッセージ♡

人に物事を伝える難しさ
と楽しさを実感できたとても楽しい時間でした。青森市出身ですが、こんなに弘前を好きになったのは間違いなくひろ♡レポのおかげです♡
新世代のひろ♡レポ、応援してます！（佐藤末佳）



ひろ♡レポの活動を振り返ってみると、本当に多くの人とつながることができ、大きな財産になったと感じています。弘前のために頑張る若者がどんどん増えていけばいいなと思います！ありがとうございました！（澤田葉奈）



大学3年の冬からひろ♡レポに所属し、いろいろな顔の弘前取材しました。最近は参加できていませんでしたが、心強い後輩たちが増え安心しています。ひろ♡レポを通しもっと②弘前が大好きになりました。ありがとうございました。（高森えりか）



楽しいことばかりではありませんでしたが、ひろ♡レポの活動を通して学べたことや成長できたことが多く、参加してよかったと思っています。それと同時に関わって下さった人に感謝しています。ありがとうございました♡（小泉智子）

ひろ♡レポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足された、広報ひろさきで学生企画コーナーを担当する女子大生グループです。問い合わせやご意見・ご感想はEメール（hiro.repo@gmail.com）で。Facebook（http://www.facebook.com/hiro.reporters）、Twitter（@HiroRepo）もやってます！興味のある人はどうぞ（*^*）